

人材の創出

学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち
郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材

知・徳・体の調和のとれた生きる力

子どもの成長等

地域を知り、地域の価値を創造する力

変化に対応し新しい社会を牽引するための基盤となる力

基礎的読解力・数学的思考力・情報活用能力

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力

知識・技能

徳の分野

知の分野

体の分野

自己肯定感や規範意識の醸成

他者と協働する力の育成

基本的な生活習慣の定着

健やかな体の育成

望ましい教育環境の構築

①組織的に課題に対応し、協働的に学び合い、教育の質を高めるチームとしての学校体制が確立されていること

就学前教育の充実

②貧困や不登校、学力の未定着等、多様な課題を抱え、厳しい環境にある子どもたちへの支援体制が構築されていること

③AI人材等の需要への対応や、新技術の教育への活用等、デジタル化社会に向けた教育の革新が実現されていること

④学校・家庭・地域など、社会全体で子どもを育むための連携・協働体制が構築されていること

⑤生涯にわたり新たな力を得るための学びの機会と安全・安心に学ぶことのできる環境が確保されていること

次期教育大綱の方向性（案）について

第一期の教育等の振興に関する施策の大綱に基づき実施してきた取組の分析・評価については、資料2-2に記載のとおりであり、知・徳・体のそれぞれの分野で着実に成果があがっているものの、ロジックモデルに掲げる教育環境を実現していくためには、特に以下の項目について重点的に取組を進めていくことが必要。

①組織的に課題に対応し、協働的に学び合い、教育の質を高めるチームとしての学校体制が確立されていること

【これまでの成果】

タテ持ち・教科間連携等による授業改善やマネジメント力の向上、校内支援会の実施、学校経営アドバイザー等の指導による学校運営のPDCAサイクルの推進等のチーム学校としての取組が多くの学校において実現。

【今後の方向性】

組織として協働的に学び合い、教育の質を高めていくための取組が、就学前から高等学校段階までの全ての学校において自律的・継続的に実施されるとともに、PDCAサイクルの徹底による授業改善、校種間の連携強化、新学習指導要領や働き方改革等の動向も踏まえ、**新しい時代に対応したチーム学校を推進**する。

②貧困や不登校、学力の未定着等、多様な課題を抱え厳しい環境にある子どもたちへの支援体制が構築されていること

【これまでの成果】

就学前は、親育ち支援担当者の配置や民生委員等の連携が進むとともに、就学後は、放課後等の学びの場の充実、地域全体で子どもを見守る体制の整備やSC・SSW等の外部人材との連携、特別な支援を要する児童生徒への個別の指導計画の活用等に進捗が見られる。

【今後の方向性】

親育ち支援や多機能型保育の拡充等を図るとともに、不登校の未然防止のための取組強化や優良事例の横展開、特別な支援を要する児童生徒への組織的な支援体制の充実等により、**厳しい環境にある子どもたちへの支援を充実**する。

③AI人材等の需要への対応や新技術の教育への活用等、デジタル化社会に向けた教育の革新が実現されていること

⇒今後、Society 5.0の到来により、求められる力や教育の在り方も変化すること等が予測されており、政府の教育再生実行会議においても、「技術の進展に応じた教育の革新」等が提言されたところ。これらの動向も踏まえ、高知の子どもたちがSociety 5.0をたくましく生きていけるよう、**当該分野については、抜本的に強化し**、以下のような方向性で**技術の進展に応じた教育の革新**を図っていくことが必要。

- ア 急速に進むデジタル化社会に対応し、学んだ知識を活用して、**新たな価値を創造できる人材の育成**
- 全ての児童生徒が将来ICTを活用できるよう、**プログラミング教育や理数系科目の教育を充実**
 - 大学と高等学校との連携による、**AIやデータサイエンス分野における高度な人材の育成に向けた新学科（又はコース）の設置** など
- イ ICTやAIの活用により、**高度な学習内容の提供等を通じて個々の強みを伸ばすとともに、基礎学力の定着などの弱みにもきめ細かく対応する「個別指導」の実現**
- 遠隔教育システムによる進学指導や、複式学級への展開、通級による指導への活用**
 - 校務支援システムを活用して学習履歴を蓄積し、習熟度に応じた学習内容を展開**

など

④学校・家庭・地域など、社会全体で子どもを育むための連携・協働体制が構築されていること

【これまでの成果】

地域学校協働本部やコミュニティ・スクール、放課後児童クラブ・放課後子ども教室の設置が着実に進むなど、社会総がかりで子どもを守り育てる環境が構築されつつある。

【今後の方向性】

地域学校協働本部に民生委員・児童委員等の参画を得て厳しい環境にある子どもの見守りを行う「高知県版地域学校協働本部」の設置促進や、コミュニティ・スクールと地域協働活動の一体的な推進、地域協働学習の推進、社会教育の活性化による学校外における活動の充実、多様な主体との連携による家庭の教育力の向上等を進める等、**学校・家庭・地域の連携・協働をさらに推進**する。

⑤生涯にわたり新たな力を得るための学びの機会と安全・安心に学ぶことのできる環境が確保されていること

【これまでの成果】

防災教育の充実や学校施設の整備等が進捗し、安全・安心な学習環境が確保されるとともに、知の拠点としてのオーテピア高知図書館の開館等、生涯にわたり学び続けられる環境が構築されつつある。

【今後の方向性】

引き続き防災教育の充実に努めるとともに、非構造部材の耐震対策等、残された課題への対応を徹底する。また、新しい時代の学びを支えるためにICT環境の整備等を進める。さらに、生涯にわたり学び続けられるよう、社会教育施設や大学・民間企業等との連携、中学校夜間学級の整備等による生涯学習機能の充実を図る等、**生涯学び続けられる安全・安心な教育基盤の確保**に向けた取組を進める。